

# がんばる人 in OHTOSHI Vol.1

新コーナーとして「がんばる人 in OHTOSHI」を始めます。  
このコーナーでは、地域でイキイキと活躍している人をご紹介します!



佐々野恭子さん

第1回は、地元産の食材を使ったメニューが自慢の店“キッチンCafé さわ”を大歳矢原にオープンされた佐々野恭子さんをご紹介します。女性起業家として、県などのバックアップによりオープンされました。地産地消にこだわった素材を使った料理でもてなしたり、料理教室も開かれています。佐々野さんは、しばらく矢原に住んだことがあるそうで、懐かしい場所でのオープンとなりました。美味しいものを召し上がって、ゆっくりできるお店づくりを心がけていますと話されていました。



こだわりの地産地消メニュー

## 行/事/予/定

11月~1月

- 11月19日(木) 大歳特別林野区境界確認作業【馬庭地区内】
- 11月26日(木) 大歳小学校 持久走大会【維新百年記念公園】
- 11月29日(日) 第38回大歳地区バドミントン大会【大歳小学校体育館】
- 12月 6日(日) 第16回分館対抗ソフトバレーボール大会【大歳小学校体育館】
- 12月10日(木)~1月3日(日) 年末年始交通安全県民運動
- 12月13日(日) 大歳体育振興会長杯争奪少年サッカー大会【維新百年記念公園】
- 1月10日(日) 大歳地区どんど焼き【大歳小学校】
- 1月10日(日) 山口市成人式【山口市民会館】
- 1月10日(日) 消防出初式祝賀会【未定】
- 1月17日(日) 第11回山口市駅伝競走大会【きらら浜】



## おとしかわの誌

## Information

### 交流センターの増改築工事でご迷惑をおかけしています!

交流センターの増改築工事でご迷惑をおかけしています!

9月上旬から工事が始まり、現在の交流センターは、写真のような状況になっています。

今後、さらに工が進むと、現在唯一使用可能な「講堂(2F)」も使用できなくなる見込みです。使用できなくなる時期は12月下旬を見込んでおり、それから3月末まで、交流センターでの貸し館業務ができなくなります。

地域の皆さんには、ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いします。



## 編集後記

大歳でがんばる人やグループを紹介するコーナーを設けることになりました。頑張るは「一生懸命に努力し通す」意味で使われるのが一般的ですが、本来「頑固に我意を張り通す」ことを意味しました。どちらで頑張る人なのかは連載をご注目。もっとも困難に直面しても我意を張り通して人を納得させるには信念と論理性が要求されます。それがなくて我意だけ通す人は我が儘者と言って、頑張る人とは言わないようですが。(武波)

# まちづくりおとし かわら版 2015.11 Vol.36

## 集いだ! 祭りだ! 深まる交流

10/11(日) 大歳まつり

9/13(日) 交流列車おとしまつり

10/18(日) 上矢原秋まつり

10/25(日) 中矢原自治会レクリエーション大会



この秋、大歳ではたくさんの“まつり”がありました。写真は、9月13日の交流列車おとしまつり、10月11日の大歳まつり、10月18日の上矢原秋まつり、そして10月25日の中矢原自治会レクリエーション大会の様です。

どの“まつり”も秋晴れに恵まれ、日頃の活動展示、ステージでの催し、飲食コーナー、ゲーム、そしてもちまき等、楽しい企画とたくさんの人で溢れていました。

まつりの企画、準備、運営に携われた方、模擬店など出店された方等、大変お疲れ様でした。

また、会場に足を運ばれた皆さんは、何か“収穫”がありましたか? 少なくとも“交流が深まった”秋の一日だったのではないのでしょうか。



## 敬老祝賀会が開催されました



いつまでもおたっしやで!!

大歳地域敬老祝賀会が9月19日(土)、山口県総合保健会館で225人の皆さんが参加される中、開催されました。

当日は午前11時に開会となり、来賓の方々の祝辞、児童代表の敬老のことは、さらには喜寿・卒寿の方々への花束や記念品の贈呈が行なわれました。

そしてお昼からは、食事をしながら、大歳小学校・さわやか学級の生徒の踊り、大正琴の演奏や民生

委員パフォーマンス隊の方々の演技を楽しみながらのひとときとなりました。

これからも多くの方に健康で長生きしていただきたいですね。



子児童による花束贈呈



花束贈呈を受けた末岡保雄さん(93歳 下湯田)と白上ヤス子さん(97歳 黒川市)

棟上げの槌にあわせて  
賜はる



白上さんの俳画

## 女性出席者の中で最高齢者——白上ヤス子さん

女性の最高齢出席者 白上ヤス子さん(上の写真右)に聞きました。白上さんは1923年(大正13年)生まれです。自由闊達な大正デモクラシー時代に生を受け、娘時代の美しさを失わせるあの昭和の戦争を生き抜いてきました。

水の如 流れる月日 卒寿かな  
白上さんの趣味は「俳画」です。俳句と絵を組み合わせた色紙をつくるのですが、作った俳画を週2回通っているデイサービスのセンターホールに月に15枚も展示しているそうですから驚きです。

90歳を越えたとは思えない知力と体力です。上の句は昨年90歳を祝った際の一句、長い歲月を生きた後の淡々とした思いが伝わります。

秋の蝶 碑の温もりに 触れて翔つ  
無住寺の 柚子裏山に 熱れるまま  
散歩しながら詠んだ句だそうです。冷たい石の

碑が温もりを感じさせるほど晴れ晴れとした秋の好天を蝶と共に楽しみ、無住寺の裏山に熟れたまま残る柚子のわびしさを和らげるような小春日の冬を楽しむ。悠々たる老後が絵に描いたように浮かんでいきます。

写真の俳画は、近所の棟上げを詠んだものなのですが、ヤス子さんの脳裏には、やっと我が家の棟上げにまでたどり着いた時の胸の高鳴りが思い出されたのかもしれない。もしかしたら、もずはともに苦勞した今は亡き夫の当時の猛々しい姿と重なっているのかもしれない。ヤス子さんは何も語りませんが、夫婦の過ごした日々の長さを思い出させてくれる句と思えば、興深さもひとしおです。

これからもお元気で、素晴らしい俳画をつくり続けて下さい。

## 大歳地域一斉清掃がおこなわれました!

10月18日(日)、大歳地域内で恒例の一斉清掃が行われました。

今年も“大歳草刈り隊”をはじめ、多くの皆さんに参加いただき、ありがとうございました。

少しずつ、大歳地域の環境美化が進んでいくのは大変うれしいことです。これからもご協力よろしくお願いします。



下湯田5班の皆さんによる川沿いの土手の草刈りの様子



河内・馬庭地域 一斉清掃



### 便利ですよ!

自治会などで実施された清掃活動で発生したゴミ等は【町内会等清掃活動報告書】を市へ提出いただければ、市が個別に回収します。

自治会等での清掃活動に当該制度をご利用ください。

※【町内会等清掃活動報告書】は、大歳地域交流センターにご用意しています。

## 大歳歴史の散歩道 Vol.15

生まれたばかりの鴻城軍に難題がふりかかります。萩から討伐軍が世子元徳公を擁して進撃してくるとの情報が伝わり、早速、軍議が開かれますが、なんと井上は、小姓として親しみ、公然と開国を唱えて孤立した際も理解してくれた世子に逆らうことはできないから、まず自分が御前に出て軍を引くよう訴え、聞き入れられなければ、その場で切腹する。さらに次の者も同じように諫死を繰り返すと主張します。簡一は驚いて「それで大田・絵堂で戦っている仲間を支援することになるのか。高杉さんの意見も聞くべきだ」と言うと井上は激怒し、「おれは行かん」とがんばります。他に高杉晋作に面識のある者もなく、ここが切所と考えた簡一は8人掛かりの早駕籠を仕立て夜通し駆けて、明け方に大田に着きました。高杉は「井上の朱子学がぶれぬ。すぐに井上に手紙を書く」と言いますし、山県狂介(有朋)は「向こうが生身の人間を立てるなら、こちらは紙に洞春(元就)公と書いて、

## 吉富簡一 その2 切腹か襲撃か? 鴻城軍の決断

それを押し立てて戦え」と忠義論などどこ吹く風といった雰囲気です。鴻城軍の弱点を思い知った簡一は戦闘経験のある50名を借り受け、山口にとって返えします。高杉の手紙に納得した井上の指揮で、簡一の主張した奇襲攻撃が行われ、討伐軍を撃退することに成功します。高杉が功山寺で決起した時、彼に勝算があったわけではなく、当初萩側もこれを無視しています。それが大田・絵堂などの内戦で勝利したのは、山口・小郡の豪農層を中心とした民衆が諸隊や兵站活動に参加したことが決定的な力となりました。まさに山口は佐藤春夫の言う「維新策源地」であったわけです。



常永寺(今の洞春寺)